



徳島県立三好病院
初期臨床研修医プログラム





誠実で信頼される
病院となる。

当院で、
地域に必要とされる
医師を目指しませんか？



ご挨拶



「患者さんと一緒に幸せを考える医療を学びませんか」

徳島県立三好病院は救急医療を中心とした急性期医療のみならず中山間地の医療とも連携し、県西部の地域医療の要としての機能を果たしています。当院の臨床研修の理念は「病を通して生を診る」。地域住民の「病」を通して「生(活)」を診ることにて、患者さんや社会の背景を理解して、地域に根付いた医療を実践していただきます。富士山のように高みを極めるためには裾野を広くすることが必要です。それには多くの疾患を診て、知識と技術を高めるのみならず、患者さんの幸せを理解できるやさしさも必要です。当院は多くの疾患を診ることができ、さらに患者さんの様々な問題も学んでいただけます。是非幅広い知識や技術を習得し、患者さんのための医療を学んでいただき、裾野を広くしませんか。

徳島県立三好病院 院長
藤永 裕之



「メディカルスタッフを含めた病院全体で、研修医をサポートします。」

当院の研修プログラムは、複数の病院との連携を図り、柔軟性に富んでいるため、研修医の要望に対応したプログラムを組むことができます。また、当院は、徳島県西部圏域の拠点病院として、救命救急センターを運営しており、1次から3次まで様々な症例を経験することができます。

私たちは研修医が楽しく、切磋琢磨しながら研修を行えるよう、指導医だけでなく、メディカルスタッフを含めた病院全体でサポートします。

医師としての第1歩を、この自然豊かな阿波池田の土地で、はじめてみませんか？

徳島県立三好病院 臨床研修管理委員会委員長・医学教育センター長・循環器内科部長
磯山 徳人



「臨床研修病院」
としての役割

徳島県西部における公的中核病院として、県民に信頼される質の高い医療を提供するとともに、地域社会を理解し、高い倫理観を持って、医療福祉に貢献できる人材を育成します。

「目指すべき医師像」
へと進む研修理念

医師としての人格を涵養し、医学及び医療の地域社会に果たすべき役割を認識しつつ、将来専門とする分野に関わらず臨床に必要な基本的診療能力(態度・技能・知識)を習得し、地域の一員として各職種と連携・協力しながら全人的な医療を提供できる医師を目指します。



先輩研修医・指導医からのメッセージ



「一般診療を中心に自分に合った研修を行うことができます。」

当院では県西部の拠点病院という特性から一般的な内科疾患、重症症例、一般外傷の初期対応など一般診療に必要な症例を経験することができます。研修医が少数であることから診療や手技を多数経験することができ、指導医のサポートの下、知識や技術を高めることができます。また、研修内容は指導医の先生と決めることができるので、入院患者を中心に研修を行ったり、内視鏡など手技を中心に研修したり、自分で学ぶ時間を確保したり、臨機応変に対応することができます。気になる症例は科の垣根を越えて診ることもあります。一般診療を行う総合的な力を養いたい方、手技を確実にこなせるようにしたい方、学ばされるのではなく、自分で学びたいと思っている方は当院で研修してみませんか。

初期臨床研修医
別宮 彰起



「医療人として“心が動く”現場です。」

地域医療の現場に出ると、患者さんと医療スタッフとの心理的な距離の近さを実感されると思います。気さくに話をする中で、心配事の相談を受けたり、最近の出来事をお知らせ頂いたり、距離の近さゆえか、患者さんの体調が悪くなると大いに心配し、良くなった時のうれしさもひとしおで、こちらの感情も揺り動かされます。医療人として「心が動く」現場です。現場では、患者さんの生活や、生活の場である地域社会のことが自然に視野に入ってきます。地域社会にはいろいろな方がいらっしゃいます。複数の視点を持ち、複数の職種で協働し、日々を楽しく、時には自ら新しい医療を切り開いて実践できるおもしろさが地域にはあります。楽しい現場へ、皆さまをお待ちしています。

美馬市国民健康保険 木屋平診療所長・自治医科大学臨床教授・自治医科大学 地域医療オープンラボ・アドバイザー
藤原 真治

三好で暮らす

三好市は「田舎」と呼ばれる地域ですが、生活に不便はありません。当院職員もよく利用している、周辺のお店をご紹介します。



研修医の1日スケジュール

6:30	7:30	8:30	12:00	13:00	17:30	19:00
起床	出勤	救急外来	昼食	病棟業務	自主勉強	退勤
目覚めもスッキリ。三好の朝の空気で。	1日の流れを確認。今日も気合い十分です。	朝のカンファレンス後、上級医の指導を受けながら救急患者の鑑別診断。	院内の食堂で午後に向けてしっかりといただきます。	専門医、多職種と連携し治療の検討を行います。	業務後は医局でちょっぴり勉強、しっかり談笑。	明日に備えて、しっかりと休みます。

プログラムの特色



勉強会・研修会

県立3病院をテレビ会議でつなぐグランドカンファレンス、研修医が症例報告を行う伝達報告会など、考え、学ぶ場が豊富に用意されています。



豊富な症例経験

プライマリーケアからドクターヘリ等による緊急搬送患者の治療までを総合的に実施し、重症度判断能力がしっかりと身につきます。



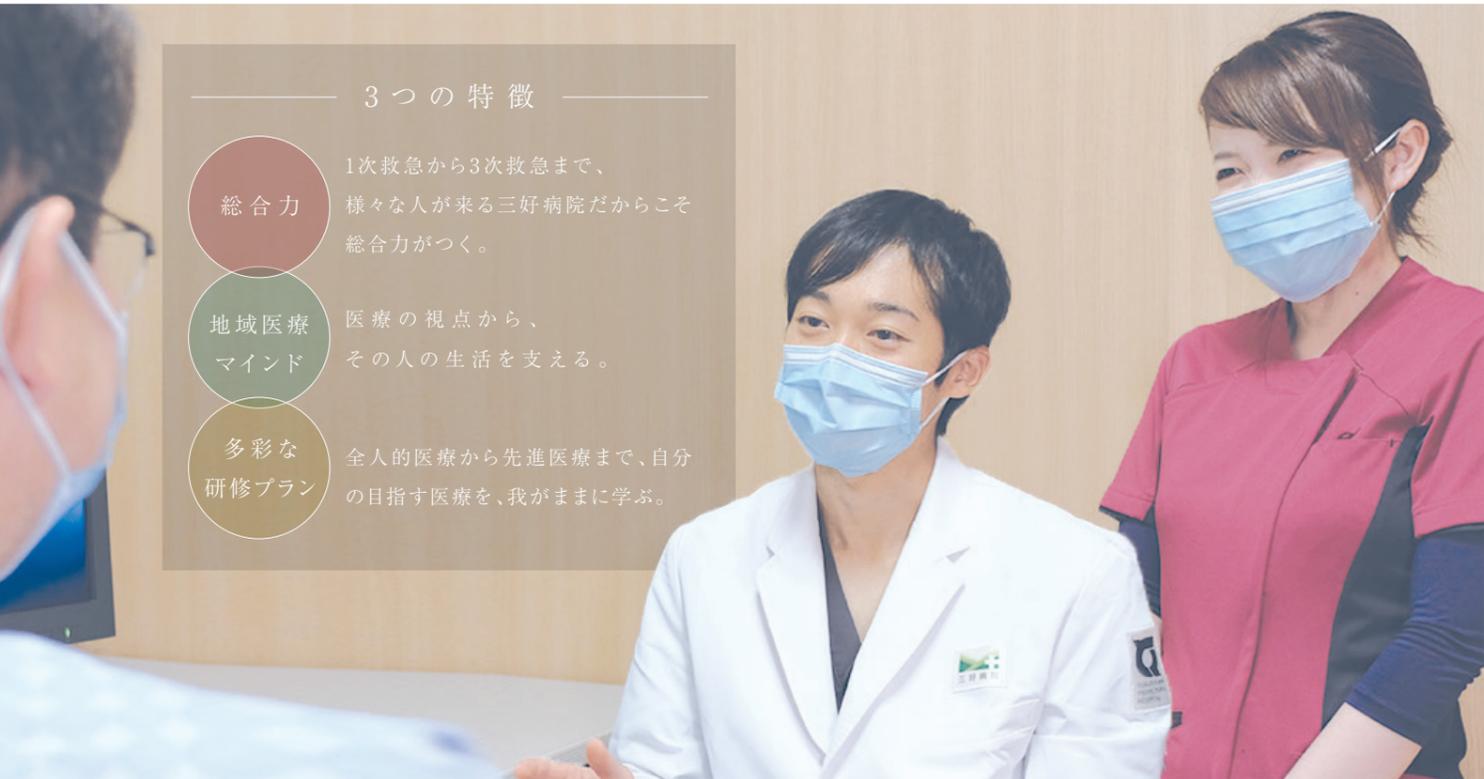
資格の取得

講習費・旅費を病院が負担し、資格取得をサポートします。



サポート体制

職員一人ひとりがプロ意識を持った仲間です。様々な職種間で協働しながら、病院全体で研修医をサポートします。



3つの特徴

- 総合力** 1次救急から3次救急まで、様々な人が来る三好病院だからこそ総合力がつく。
- 地域医療マインド** 医療の視点から、その人の生活を支える。
- 多彩な研修プラン** 全人的医療から先進医療まで、自分の目指す医療を、我がままに学ぶ。

ローテーション例

例1「地域医療に重点を置いたローテーション例」

必修科目 選択科目

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	総合診療科	救急科	麻酔科						
2年次	外科	諏訪中央 総合診療	半田 小児科	半田 産婦人科	半田 地域医療	西祖谷 地域医療	三野 地域医療	徳大 内科	県中 精神科	緩和ケア 内科		

例2「専門医研修に重点を置いたローテーション例」

必修科目 選択科目

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	総合診療科	県中 精神科	麻酔科	救急科	半田 小児科				
2年次	半田 産婦人科	木屋平 地域医療	三野 地域医療	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	救急科	

プログラム内容

科目	内容
必修科目	●内 科…24週(呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・総合診療科) ●救急科…12週 ●外 科…4週 ●小児科…4週 ●産婦人科…4週 ●精神科…4週 ●地域医療…8週
選択科目	徳島県立三好病院13科目、徳島県立中央病院19科目、徳島大学病院22科目、諏訪中央病院総合診療科、より選択…44週(最後の4週間は徳島県立三好病院で研修)

協力病院

- ①徳島県立中央病院 ②徳島大学病院 ③つるぎ町立半田病院 ④三好市国民健康保険市立三野病院 ⑤諏訪中央病院
⑥美馬市国民健康保険木屋平診療所 ⑦三好市国民健康保険西祖谷山村診療所



病院概要と臨床指標

名称	徳島県立三好病院				
開設日	昭和31年1月1日				
許可病床	220床 (一般病床/206床【ICU/4床,HCU/6床,緩和ケア病床/20床】結核病床/8床,第2種感染症 病床/6床)				
診療科	内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・緩和ケア内科・脳神経内科・外科・脳神経外科 整形外科・形成外科・小児科・皮膚科・泌尿器科・眼科・産婦人科・耳鼻咽喉科・放射線科・救急科・麻酔科				
主な 病院機能	救命救急センター・地域がん診療病院・地域災害拠点病院・へき地医療拠点病院・地域医療支援病院地域医療連携開放型病院・第二種感染症指定 医療機関・日本医療機能評価機構認定病院・徳島DMAT指定病院				
臨床指標 (令和3年度実績)	一日平均入院患者数	119.3人	救急医療	3次救急(地域救命救急センター)	
	一日平均外来患者数	252.2人		救急患者数	7160人
	平均在院日数	14.1日		うち3次救急患者数	238人
	年間手術件数	1555件		うちCPA	46人
	年間総内視鏡件数	1652件		救急車受入件数	1823件

令和5年度 初期臨床研修医 募集要項

応募資格	令和5年 3月医師免許取得見込者	待 遇	給 与	1年次	年額 500万円～550万円程度	
募集人数	1年次 2名			2年次	年額 550万円～600万円程度	
研修期間	令和5年 4月1日から2年間		休 日 休 暇	地域手当、超過勤務手当、 通勤手当、当直手当、賞与年2回含む		
選考方法	書類審査及び面接・小論文			休日：土・日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 休暇：有給休暇20日/年 夏季休暇3日ほか特別休暇あり		
申込期間	定員に達し次第 締め切り			社会保険	健康、雇用、労災、厚生年金	
選考時期	申し込み受付後に日程調整し、応募者に通知します。		研 修 参 加 等	基準額内での学会・研修参加などの 旅費・参加費支給あり		
提出書類	選考申込書(当院HPからダウンロード可 https://tph.pref.tokushima.lg.jp/miyoshi/)					
申込方法	郵送の場合は、封筒表面に「臨床研修医」と朱書きし、簡易書留でお送りください。 持参される場合は、平日(午前9時～午後5時)にお願いします。					
身 分	有期の常勤職員					
勤務時間	1日7時間45分(8:30～17:15) 週休二日制					
その他	マッチング方式により採否を決定					

提出及び 問い合わせ先



〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2

電 話 0883-72-1131 (代表)
F A X 0883-72-6910
メール miyoshiyouin@pref.tokushima.jp



当院ホームページは
こちらのQRコードから
(<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/miyoshi/>)

徳島^{あわ}池田から始める、
地域医療



令和5年度 初期臨床研修プログラム



Addr. 〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
Tel. 0883-72-1131 (代表)
Fax. 0883-72-6910
E-mail. miyoshibyouin@pref.tokushima.jp
Web. <https://tph.pref.tokushima.lg.jp/miyoshi/>



ホームページ

